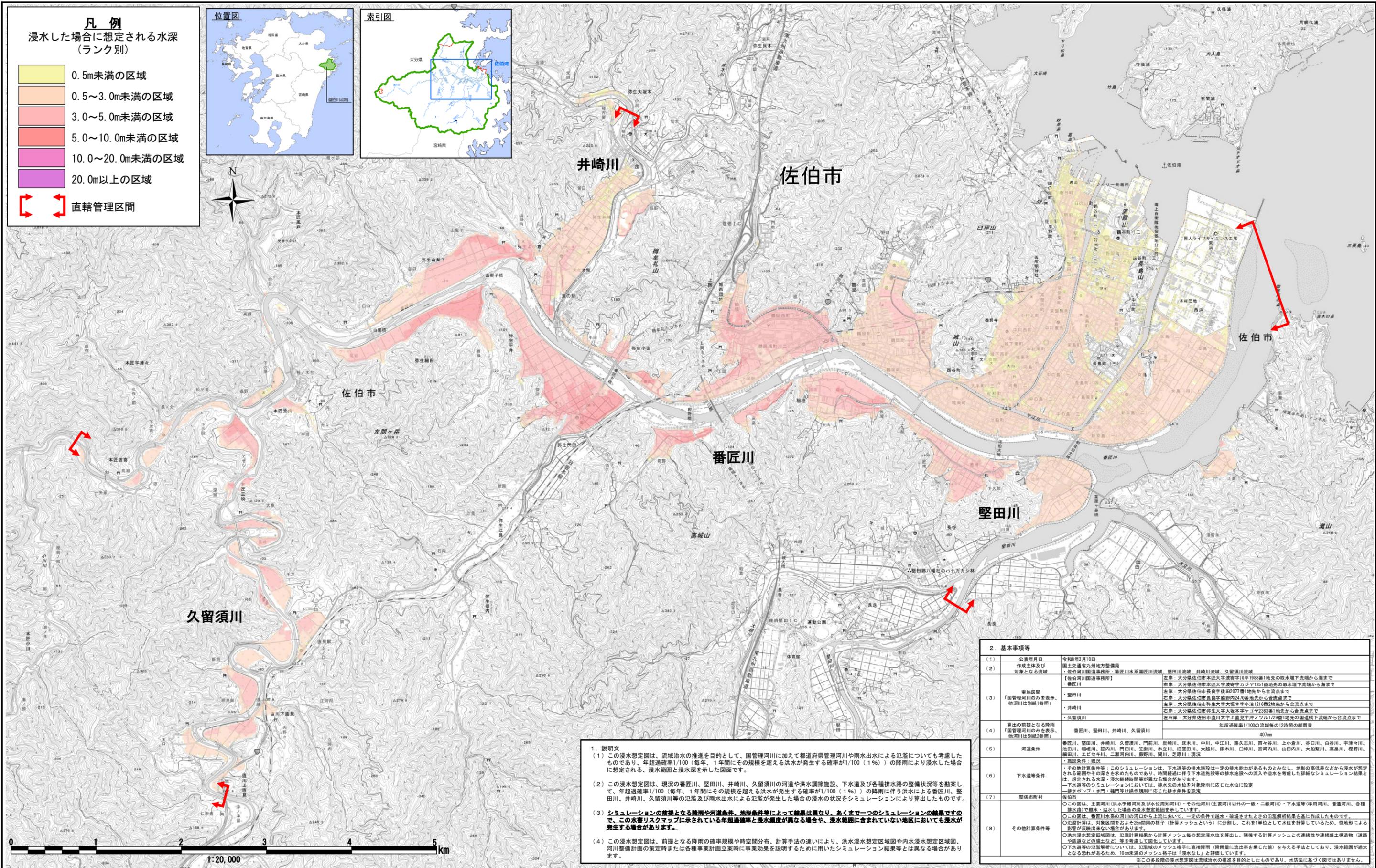


番匠川水系 内外水統合の多段階の浸水想定図

【確率規模 1 / 100】



凡例
 浸水した場合に想定される水深
 (ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5~3.0m未満の区域
- 3.0~5.0m未満の区域
- 5.0~10.0m未満の区域
- 10.0~20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域

↔ 直轄管理区間



1. 説明文

(1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川と雨水出水による氾濫についても考慮したものであり、年超過確率1/100 (毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100 (1%)) の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を示した図面です。

(2) この浸水想定図は、現況の番匠川、堅田川、井崎川、久留須川の河道や洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況を勘案して、年超過確率1/100 (毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100 (1%)) の降雨に伴う洪水による番匠川、堅田川、井崎川、久留須川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

(3) シミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーションの結果です。この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水範囲が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。

(4) この浸水想定図は、前提となる降雨の確率規模や時空間分布、計算手法の違いにより、洪水浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定または各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。

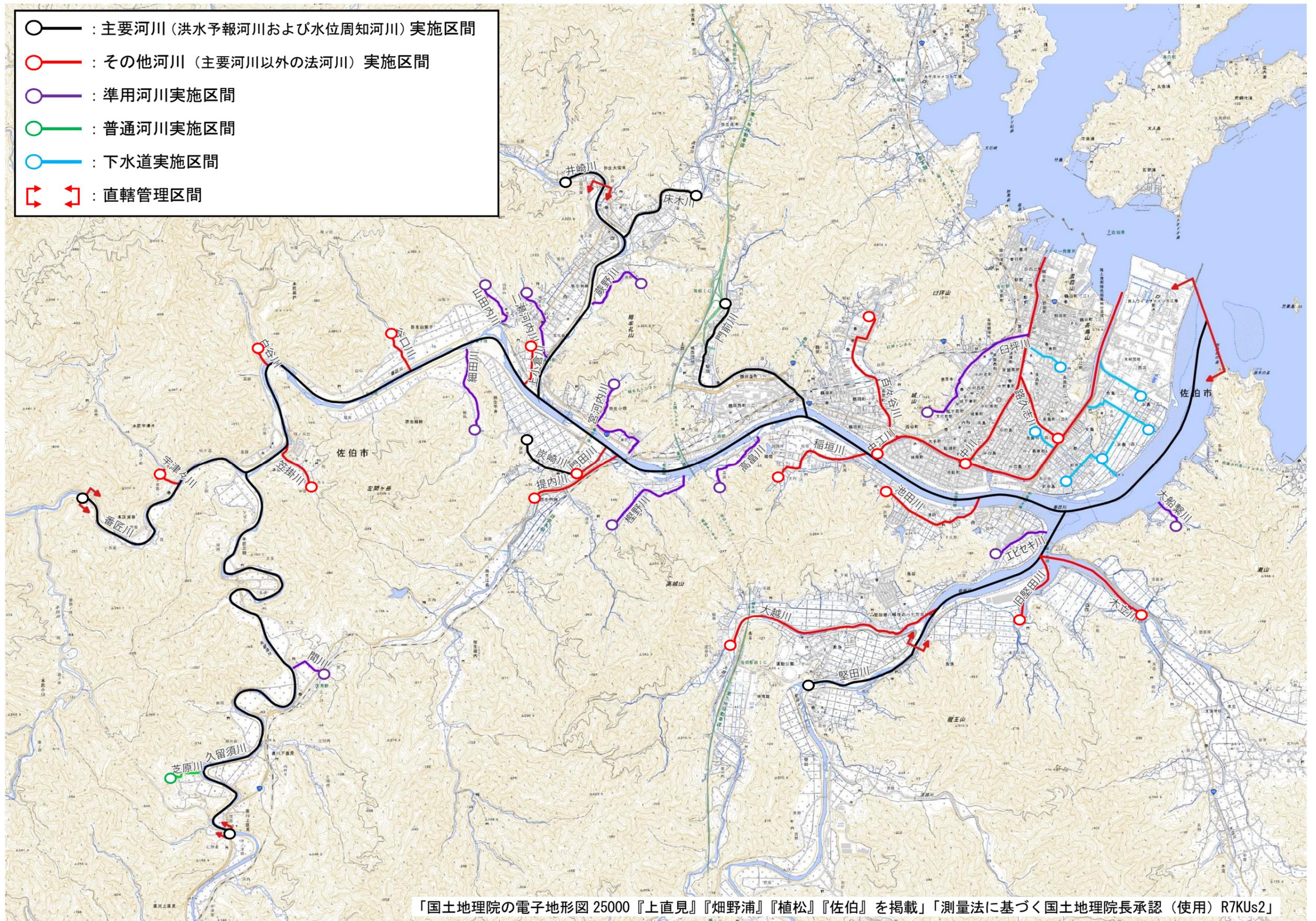
2. 基本事項等

| | | |
|-----|--------------------------------------|--|
| (1) | 公表年月日 | 令和8年3月10日 |
| (2) | 作成主体及び対象となる流域 | 国土交通省九州地方整備局 佐伯河川国庫事務所：番匠川水系番匠川流域、堅田川流域、井崎川流域、久留須川流域 【佐伯河川国庫事務所】 ・番匠川 ・堅田川 ・井崎川 ・久留須川 |
| (3) | 実施区間 「国管理河川のみを表示、地河川は別紙1参照」 | 左岸：大分県佐伯市本匠大字渡寄字川平1988番1地先の取水堰下流端から海まで 右岸：大分県佐伯市本匠大字渡寄字カヤ1251番地先の取水堰下流端から海まで 左岸：大分県佐伯市長島字後田071番地先から合流点まで 右岸：大分県佐伯市長島字野内2470番地先から合流点まで 左岸：大分県佐伯市弥生大字大坂本字小畑1216番2地先から合流点まで 右岸：大分県佐伯市弥生大字大坂本字ケゴヤ2363番1地先から合流点まで 左岸：大分県佐伯市直川大字上直見字沖ノ丸1729番1地先の国道橋下流端から合流点まで |
| (4) | 算出の前提となる降雨 「国管理河川のみを表示、地河川は別紙2参照」 | 番匠川、堅田川、井崎川、久留須川 年超過確率1/100の流域毎の12時間の総雨量 407mm |
| (5) | 河道条件 | 番匠川、堅田川、井崎川、久留須川、門前川、唐崎川、庄木川、中川、中江川、霧久志川、百々谷川、上小倉川、谷口川、白谷川、宇津川、池田川、稲垣川、埴内川、門田川、笠野川、木立川、旧堅田川、大越川、庄木川、山内川、大船瀬川、高島川、櫻野川、細田川、エビセキ川、二瀬河内川、巖野川、間川、芝原川：現況 |
| (6) | 下水道等条件 | 施設条件：現況 ・その他計算条件等：このシミュレーションは、下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとし、地形の高差差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、物置敷地等下水道施設への流入や浸水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間等が異なる場合があります。 ・下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を対象降雨に応じた水位に設定 ・排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定 佐伯市 |
| (7) | 関係市町村 | 佐伯市 |
| (8) | その他計算条件等 | ○この図は、主要河川(洪水予報河川及び水位観測河川)、その他河川(主要河川以外の一級・二級河川)・下水道等(準用河川、普通河川、各種排水路)で排水・溢水した場合の浸水想定範囲を示しています。 ○この図は、番匠川水系の河川の河口から上流において、一定の条件で越水・溢水させたときの汎濫断結果を基に作成したものです。 ○汎濫計算は、対象区間をおよそ50m間隔の格子(計算メッシュという)に分割し、これを1単位として水位を計算しているため、地形による影響が反映出来ない場合があります。 ○洪水浸水想定区域図は、汎濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水位置を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続構造物(道路や鉄道などの橋など)等を考慮して図面化しています。 ○下水道等の汎濫断については、汎濫断のメッシュ格子に直接降雨(降雨量に流出率を乗じた値)を有する手法としており、浸水範囲が過大となる恐れがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価しています。 ※この多段階の浸水想定図は流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。 |

2. 基本事項等

(3) 実施区間 付図

別紙 1



2. 基本事項等

(4) 算出の前提となる降雨

| 年超過確率 1/100 における流域毎の 12 時間の総雨量 | 1/100 |
|---|-------|
| 番匠川、堅田川、井崎川、久留須川、木立川、旧堅田川、大越川、 提内川、床木川 | 407 |
| 門前川 | 116* |
| 炭崎川、門田川 | 134* |
| 中川、中江川、路久志川、百々谷川、臼坪川、大船繫川、下水道 | 357 |
| 上小倉川、二瀬河内川、蕨野川 | 369 |
| 谷口川、白谷川、笠掛川、山田内川、細田川 | 413 |
| 宇津々川 | 417 |
| 池田川、稲垣川、宮河内川、高畠川、檜野川、エビセキ川 | 375 |
| 間川、芝原川 | 485 |

※門前川、炭崎川、門田川は 1 時間雨量の値

単位 : mm